

お天気診断学

③

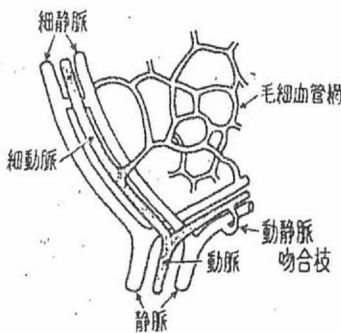
もう少し血圧について考えてみましょう。血圧には①心臓が血液を送り出す力や脈拍数の血管の弾力性や容積②血液の量や粘りつき③などが関係します。直接心臓や血管に対して作用するのは自律神経系とホルモン、体液性物質で、これらが複雑に影響して血圧を正常に保とうとします。

血圧

寒冷昇圧テストという検査があります。これは片手を氷水に入れ、反対側で血圧を測り、前後でどのくらい血圧が上がるかを、血管の収縮性を調べるものです。この検査を北海道出身の北大生と本州出身の北大生に對して行うと、

神経、血管などの働き影響

本州出身者は明らかに血圧が上昇し、持続するのに対し、北海道出身者は一時血圧が上昇しても急速に正常化するものが分かりました。



脈、毛細血管を通じて、血液が再び流れるようになるのです。この機構は、血液を流すのを防ぐのに役立つばかりか、血圧にも影響しています。

この結果から、北海道出身者は寒冷刺激を受けると、自律神経系やホルモン、体液性物質が関係して、血管が収縮するようになり、血圧が上昇する。一方、本州出身者は、血管が拡張する傾向があることが分かります。

並木教授の医の話



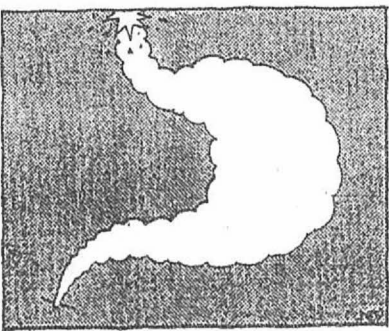
25

鹿兒島へ講演に出向いた機会に、知覧の町を訪問した。鹿兒島市より三十四キロ離れたこの町は、かつて陸軍特攻隊の最前線基地があった。沖縄を死守するために知覧をはじめ、各地の特攻基地から出撃した陸軍特攻隊員だけでも千二百二十八人が戦死した。その遺骨を慰めようと、昭和三十年、知覧飛行場跡に特攻平和観音堂が建てられた。その横に最近新築された特攻平和会館

特攻隊

無限の不安緊張状態

がある。ここでは特攻隊員の遺影、遺品、遺書などが展示されている。しかし、私は前田さんのように、複雑な心境が湧きあがり、胸が詰まった。私が最も関心を持ったのは、死を目前にした極限の不安緊張状態(強烈なストレス状態)における、胃や十二指腸に炎症を生じたという報告である。戦争を知らない子供たちが、この文面をおかしたのかも知れない。それにして、基地の重宝であったといふ二人の医師と話すことができたが、当時は全く別の方向で突進し、



イラスト：佐藤のぶあき

でいる時は、ストレスとして感じられないかもしれない。そうだとすると、ストレスは、本来、生じたままに生じなかつたとしても、いえる。そのへんのことを知りたいのだが、難しい問題だ。

毎年五月三日の憲法記念日には、遺族や関係者が多数知覧に集まり、特攻慰霊祭が行われている。今日がその日である。心から敬意を表する。



花療法

一〇

スズラン イライラ鎮める作用

五月、六月にかけて、スズランの花便りが北海道から届きます。白い釣り鐘状のかわいらしいスズランの芳香成分が、精神のイライラを鎮め、心を穏やかにしてくれると聞かれています。

イライラの原因は、東洋医学では「肝気うつ結」といいます。肝気が高ぶると、スズランが離れた状態を言います。スズランの花の香りから、この「肝気」を調整する作用が期待されています。

スズランを玄関に飾れば、その家を訪れた人や帰る人、スズランの花と静かな話し合いの時を、どうぞを歩み入れた玄関に飾り、片桐養子花療法研究家

一方、スズランの根と根茎を乾燥させた花であり、花言葉も「純愛」と「希望に満ちたもの」です。スズランは、薬に用いられますが、「純愛」と「希望に満ちたもの」を添うように、花を咲かせ、よい香りを漂わせます。別名「君影草」は、スズランは、リンドウと同じく、春の訪れを告げる花です。